

(好き、好き、好き、好き、好きイイイイ……！！！！)

あなた！　そう、あなたです、なんですかッ、そのだらしない身体はー！

その不快な姿を私に見せつけるなんて、言語道断ですよ！

（ああ、なに言ってるんの私、言いがかりにもほどがあるでしょ、めちやくちやイヤなやつじゃん……）

……. なんです、ジロジロ見て……。誰だよお前って顔ですね。

私は生徒会長、釜無香澄です。

（あなたが大好きな金無香澄です！ よろしく！）

フンツ。どうせあなた、心の中で私を見下しているのでしょうか？

（はいその通りです！ 完全にイチャモン・ヒス女です！

あなたが好きすぎて、会話をしたくて、でも理由が見つからなくて、結局ハチャメチャなこじつけで話しかけてしまう頭おかしい女です！）

私は生徒会長として、風紀委員の活動に注力しています。

彼らと連携を密にすることで、あなたのような視界にも入れたくない不快物を徹底的に糾弾し、是正し！ この学校をルーヴル美術館のごとく美しく改善し、実りある学校生活を——……って、聞いてるんですか、このすつとこどつこい！

（きやあーっ 呆れた流し目で見てる！ 私を！ えろっ！ やばっ！  
えろすぎて全身から鼻血出ちゃう！）

ちよつと、こつちを見なさい！

……あ、あなたはッ……私の言葉が念仏にでも聞こえるようですね。

私の思想、理想をありがたいと感じるまで、説教が必要です。

放課後、生徒会室に来なさい！

二人つきりでッ、信濃川よりも長あいお話を聞かせてあげましょう！いいですね！来なければ、校長先生にあなたの停学を進言します！

（わあーわああーどうしようどうしよう誘っちゃった！）

二人つきりて！ 二人つきりて言っちゃった！ もはや痴女じゃん！  
どうしようどうしようどうしよう（）

わかりましたか？ わかったのならさっさと、次の授業の準備をしなさい！  
まったく、その舐め腐った態度といい容姿といい、  
なにもかもっ！ ぜんぶッ！ 嫌いです！

あなたは、この釜無の「要注意でしょうリスト」に追加されました。

……ブラックリストですからね！？　ちゃんとわかってます？

せいぜい嫌いから、ふつうになるくらいは努力することですね！ フンッ！

（嘘ですつ、ぜんぶ嘘です。本当はあなたが、あなたのことが……）

(ぜんぶ、好き……！)

## N密室生徒会はAV導入のごとく

……フン。来ましたね。

(うわ、ほんとに来ちゃった。どうしよう)

ちょっと！ちゃんとドアを閉めてください。非常識ですよ。  
そんなこと、言われなくてもできるようになさい！

(閉めてもらわないと困ります！ だってだってだって今、  
二人つきりなんですよお!?)

ああ、あと、カギをかけてください。

あなたと二人で話しているところなんて、見られたくないですからね。

さあ、こちらへ来て。そこに立って。

……午前中にも言ったことですが。

あなた……そのだらしない身体はなんとかならないんですか。

視界に入るのも不愉快です。が……私は、率先して生徒を指導する立場。

あなたは生徒で、私は生徒会長。あなたの健康チェックも、  
会長である私がやるべきだと考えます。

やりすぎだと思いますか？

……これぐらいでなければ、この役目は務まらないのですよ。

(ああごめんなさい。ごめんなさい。ひどいことを言ってしまったて。

本当は……あなたのその重そうな身体に、

汗臭そうな身体に押し倒されたい変態なんですッ……)

とにかくですね、ちょっと、……制服を脱いでみてください。

(えええええなに言ってるのわたい!?! あっあっどうしよつ、  
「はあ?」みたいな顔されてる! あっあ!)

あつ、こっこほんッ……、

そりゃ反吐が出るくらいイヤですしキモいですが、仕方ないでしょう。

あなたの体脂肪率とか、

なんかそういうデータをこちらでも把握しておきたいだけですッ。

……いや、見るだけで大丈夫ですよ。目視で数値とかぜんぶわかるので。

(ごめんなさい嘘です)

生半可な指導は逆効果でしょうからっ、徹底的にやるというだけ。

他意も拒否権ありません、決して!

あなた生徒! わたし生徒会長! この関係は覆らないの!

だからほら、早く脱ぎなさい!

(うあああ……言っただ、勢いに任せて言ってしまった、

え、ちょ、ほんとに? ほんとに私の前で脱ぐの?)

……え、そりゃ、ぜんぶですよ。ぜんぶ脱い——あついや、下着はっ残して!

とっ当然でしょうが! ばかものですか??

わたッしは、生徒会長である前に私は、ひとりの女性なんですから——って、

え、もう……!?! えあ、そ、そうですか。

いやに聞き分けがいいですね。何を企んでいるんですか。

(いやほんと聞き分けがよすぎませんか? なんてためらいなく脱ぐの!?

もしかして私、女として認識されてない……ってコト!?)

(いいいやそれよりッ！ そんなことよりッ……、な、なんて——)

……ッなんて、不摂生な身体。たるんだお腹に、締めりのない四肢。  
そんな、そんなの……。

(えっ、えろすぎるでしょうがあああああッ……!!)

なんであなたはそんなにッ、私に突き刺さる身体してらっしゃるの？

オオオッ……やばい本気で鼻血出ちゃう、むりむりまぢむり、

これは、これは……エロスの宝石箱やああ~~~~！)

ま、まったく——本当に、言葉を失うくらいの身体ですね。

どんな食生活をしたら……ここまで情けない身体になるんだか。

(汗でぬらついて、お、おパンツの上にお腹が乗っかって)

うッ……あ、汗、クラクラするニオイ、ああ、これ、だめ)

スウウ、……ッオウ……、

は、鼻がッひん曲がります。不潔です、不快です！

健康チェックはもういいですッ、早く服を着直してくださいッ！

(これ以上この匂いを嗅いだら、私のパンツが大変なことになっちゃう！)

……へえっ？ な、なにをグズグズしてるんですか。

ていうかなんで近づくんですか。寄らないでくださいキモイです。

(えなに？ なに？ なに？ もしかしてついに怒らせちゃった？

うわっわわ、私、ぶん殴られちゃう！？ 右アッパー左フック？

ああ、そんなことされたら私、うれしすぎてイっちゃうかも……、え？)

あ、あの、何をして

……へっ???

(へっ???)

へえエえっ!? あっあちよつオツなっなににッなんでおパンツ脱いでッ、  
ちょッ履いてッ！ 履きなさいちよつとなに考えてんのおちよつとお!?

(えああっあっおちんぼっ、おおおちんぼっ、包茎おちんぼっおちんぼっ！

ッは、いやいやいや待て待て落ち着け、これは千載一遇のチャンス、

こんな素敵なおちんぼ、しゃぶりつきたいのは山々だけど、

段階を、そう、段階を踏まねば！ 現状は、言わばA Vの導入シーン！)

おッおほんっ、おほんっ！

ッ……私の警告を無視して、あまつさえ履けという命令にまで背きますか。

そんな、……お粗末なものを丸出しにして。

いいでしょう。あなたはソフソフッ、……コホン、教育が必要のようですね？

(うわあ、ニヤニヤが抑えきれないッ、どうしようつい笑っちゃった、

おかしな女だと思われたかな？ だって仕方ないじゃん、目の前に、ぼ、

勃起おちんぼが、彼の包茎勃起ちんぼがあるんだもの……)

……そこに座りなさい。……そうです、そこは、生徒会長である私の席です。  
そこに座ることの重圧、責任感、それを全身に感じていただきます。

(さっきまで私が座ってたうえ、妄想と興奮でじつとりと湿りまくってます。

そこに座ってほしかっただけです。ごめんなさい。

フフ、さながら信長の草履を温めた秀吉レベルの機転ね)

……では次は、背もたれの外側で後ろ手を組みなさい。  
……そうです。素直になってきましたね。

その従順な心を、身体ごと縛りつけてあげましょう。

幸い、ここになわとびがあります。ククク……手も足も縛って、  
あなたの情けない恥ずかしいところ……隠せないようにしちやいますから。

（ちなみにこのなわとび、私が初めて二重跳びを達成した思い出の品です、  
大事なお守りであなたを縛るなんて、私はなんてハレンチな女……）

……よし……。

アッハハ♥

いい格好になりましたねえ？ これまでの不遜な態度、

それがどれだけ愚かしいものであったかわからせてあげましょう。

覚悟することですね、んふふ♥

♡緊縛密着タマフエラ手コキぜんぶ好き

さて、さて、ふふ、これでもうあなたは、私には手出しできない。

無様ですね。なんと間抜けな格好でしょう。

しかしその縄をほどいてしまえば、あなたは自由。

腕力にものを言わせて、私に復讐するに違いありません。

ならば、こうしてしまえば……。

あーあーあー……なんとまあ。こんなのグロ画像ですよ、グロ画像。  
気っ持ち悪い。吐き気を催しますね。

恥ずかしい姿を記録されているのに、相変わらず勃起は収まらないのですね。  
こんな写真が保存されたスマホ、あまりの汚さに壊れてしまいそう。

虫唾が走るほど不快です、が……これであなたはもう、私には逆らえない。

（えっへへ、彼のおちんぽ丸出し全裸写真！ これ家宝にしちやお）

ああもちろん、あなたがこんな情けないおちん……、ペニスを持っていることも、  
しつかり、ズームで、画面いっぱい……。

……う！？

（嘘、もしかしてこれって……）

……ちよつと、どうして……ペニスの先端が光っているのですか。

ッあ、あなたは、こんな目に遭って、写真まで撮られて、……欲情した。  
とても言うのですかっ？

きつつしよ。このッ……変ッ態。きつつしよ。気持ち悪すぎる。

（だいつすき♥）

……はああ……！ 先ほど、急に下半身を露出したことといい、

あなたが異性に対し、どれだけ邪な感情を抱いていたのか、よくわかりました。

これは想定外の予想外です。今撮った写真は脅しにはなりえない可能性が高い。

身体も神経も太巻きのあなたには、どんなプレッシャーも、

蛙のツラへ水というやつでしょう。

だからと言って、危険すぎるあなたを野放しにするわけにはいきません。

生徒たちを守るため、学校の風紀を守るため、私は、粉骨碎身する覚悟です！

……つまり、あなたの性欲処理を、私自らしてあげましょう！

（……いろいろあったけど、これは完べきな導入。完べきな理由。

すなわち、私の痴女紛いな行為は正当化される……！

ああ、おちんぽ、目の前におちんぽ、やつと、彼のおちんぽを、私は……）  
スウウウッ……はあああ……ッ。

うううッ、くっさあ……ッ……！ こんな臭いものッ、人生初めてですッ。  
こんなものぶらさげて生きてるなんて信じられない。

わッ私の、私の唾液で、浄化しなければ。  
はーッ、はーッ、はーッ、けがらわしい、あまりにもけがらわしい。

—  
ん  
ぐ  
つ  
♡  
♡

んぐおツんごっ♡  
じゅぷツじゅぷツじゅぷツじゅぷツじゅぷうツ♡

んっ、れおれおれおれおつ♡  
んれおつれおれおれおつ♡

あむうツ……ツんんんぐツ、んツ……！

フーッ！ フーッ！ フーッ！ フーッ！

(ちんぽちんぽちんぽちんぽちんぽ  
おぉ~~~~ツ♡♡

ちんぽっ、ちんぽっ、ちんぽっ♡ちんぽおいしい♡

おおうッ……これやばッ、喉奥に亀頭あたって、カウパー感じるのどちんぽと彼ちんぽキスしちゃってるうッ♥)

んぶあッ、はーッ、はーッ、はーッ、けっ、けがらわしいっ、

なんて汚らわしいッ……はあッ、はあッ、でも、

私は生徒会長なので大丈夫です、この口と言葉で、生徒たちを指導する私があなたのちんぽぐらいでえッ、けがれ負けることなんて、ありえませんっ！

はあッ、はあッ、……はむうッ！

（あああゝフェラって、彼そのものを咥え込んでるみたいで、口の中、

だけじゃない、脳みそまで満たされて、こんなに気持ちいいんだ、最高  
 苦しい、臭い、それが全部おいしくて幸せで、ああ〜〜もう、ほんと、  
 なんも考えらんなくなっちゃう、ちんぽしゃぶるのしゅきい……♡）

んうぶはっ、はあッ、はあッ、はあッ、はあッ、まったく、私の口の中でッ……

遠慮もせず、はッ、ちんぽおつきくして、私の口は、

あなたのオナホールじゃないんですよ。

あああ、タマタマもパンパンに膨らませてツ、きつたないツ……。

無造作に毛まみれのタマタマ、これこそ諸悪の根源、私の敵です。

大事なのは敵を知ること、すなわちこれの匂いを覚えなければ——スウウツ。

はあッくつきすぎッ♡ スンッ、スンッ、くさッ、くつつきッ、何この匂いッ、

頭おかしいの？ スンツ、スンツ、スウウツ、はアアツ、スウウツ、はあアツ。

こんなの嗅いでたら鼻がひん曲がるッ、精神に異常をきたしそおスンスンスン、

はーっ、はーっ、ツあむううっ♡  
んぐッ、んぐっんぐんぐっ、んぐうっ♡

ぶえッ、はッ、はッ、おえッ、口の中も、口周りも、

縮れた陰毛がついてしまったじゃないですか。どうしてくれるんですか。

（ああ私ったら、彼のチン毛にまみれて、やばい、幸せすぎて、

頭おかしくなっちゃいそ、ううんなっちゃつてゐる、でも、もつと、もつと）

…ん？

ああまったく、そんなに汗を流してえッ、肥満だからって汗っかきすぎです。

神聖な生徒会室が汚れてしまうじゃないですか、れろオっ……♡

ちゅッ、んむ、れおッ♡♡  
はあっ♡♡  
じゅるっじゅるるっ、んう、んえ♡♡

ああこっちも、汗を垂らさないでっ、んれおっ、ちゅむっ、んえっ、えおっ♡

ちゅっ、じゅるるるるッ♡んっ、はああっ……♡

ちよっと、なにびくびくさせてるんですか。早くおちんぽ鎮めなさい。

私がここまでしてるんですよ？

こんなにガチガチで……、ドクドク脈動して、何を訴えてるんですかあ？

ああ、もうつ、早く小さくしなさい。この皮被りの根本に溜まった欲望

ぜんぶ……搾り取ってあげますからあつ。

はあッ……私の唾液とッ、あなたの我慢汁でおちんぽデロデロじゃないですか、ぐっちゃぐちゃと下品な音を立てて、どこまで品性のないおちんぽなんですか。

こんなものに1秒も長く触れていたくありません。ましてや握って擦るなんて、さっさと終わらせたいので、私も本気を出します。

はあッもう、これほど嫌悪感に包まれたことはありませんよッ。

あなたのことなんて大っ嫌いですッ。生徒を守るためでなければ、

こんなこと絶対にしたくないッ、ほんと無理ッ、気持ち悪いッ……！

(はあーっ、はあーっ、はあーっ、はあーっ………♥)

好きっ♥ 好きっ♥ 大好きっ♥ 好きですっ♥ 愛してます♥

おちんぽ、手コキさせていただきありがとうございますっ♥

私の手コキはどうですか？ 毎日デイルドで練習してるんです♥

あなたのちんぽを想って、この手も、このテクニクも、あなたのため、

あなたを気持ち良くさせるためだけに培ったのです♥)

(私の舌で、おちんぽいいっぱい気持ち良くなってくださいねっ♥

ッああ好きッ、だいしゅきでしゅっ♥ なんてそんなに素敵なの？

あなたの彼女になりたいよ、性奴隷でもオナホでも肉便器でも、

なんでもやるからおそばに置いて♥ いっそあなたのママになりたい♥

私の身体、いつでもあなたの好きにしてほしいの♥

ああ早くっ、ザーメン見せて、あなたのザーメン見たいっ、

真っ白童貞ザーメンこの手で搾り取って、どろどろになった手え、

あなたの目の前で舐めてみせたいのっ♥ 下品な姿見せつきたいのっ♥

はああ好きイイいゝッ♥)

んッはあーッ、はあーッ、なんですか、イクの？ もう出しちゃうの？

きつもッ……、きつたなッ……せめて私の手を、生徒会室を汚さないよう、最善を尽くしてください。

ほら、いきなさいッ、いきなさい、イケッイケグズッ、童貞ッ、キモデブッ、

イケッ、惨めにイケッ、イケっ、イケっ、イケっ、イケっ、イケっ、

イケイケイケイケイケイケイケイケ！

(イってっ、イってくださいッ、おちんぽからきもちいの出してください♥

いいよっ、イっていいよ、イって、イって、イって、イってっ♥

イケイケイケイケイケイケイケイケえ♥)

ふあッ……！ ッ……うっわ、なんて勢いッ………どんだけ、出すの。

無様すぎる………こんな汚物撒き散らすなんて、生きてて恥ずかしいの？

(ひゃあっ♥ こ、こんなにっ、噴水みたいにっ♥ えっちい………♥

こんなにカッコいい射精できちゃうんだあ、あなたって本当に最高♥)

……汚すなど言ったのに、床にも机にも、私の手にも、こんなに……。

こんなものをぬぐったティッシュが、ゴミ箱に存在するというだけで、

身の毛もよだつほど不快ですよ。

ん……じゅるっ、れお、んえ、れおっ……んう、ん、ツん……。  
んぐ、んぐんぐ……ん、んん、くちや、くちや、んぐ、んぐ。

ごきゅッ……。

……いま私の体内に、あなたのきつたない、まっずいザーメンが入りました。  
あまりのまずさに、鳥肌が止まりません。最悪の気分です。

どうですか、こんなものを嫌々飲んだ異性が目の前にいるのです。  
少しは罪悪感というものを覚えましたが？ 人間のクズが。

(もつともつともつと、お腹いっぱいになつても飲みたいです。

今度はおちんぼから直接飲ませてください。あなたのおちんぼミルク、  
毎朝飲んだら、寿命が5億年くらい伸びちゃいそう……)

……はあ。結局、最初から最後まで、あなたは長所も魅力もなにもかも、  
一切持っていないことが分かりました。

この指導を通して私が感じたことを、改めてあなたに伝えましょう。

あなたのことは――

ぜんぶ嫌いッ……。

(ぜんぶ好きっ♥)

## ★最高に幸せな復讐・パイコキレイプ編

その不純極まりない生徒！ 止まりなさい！

どうもこんにちは、釜無です。相も変わらず卑しい風貌ですね。

……用事ならあります。決まっているでしょう？

今日も生徒会室でお説教ですよ。当然、拒否権はありませんからね。

……む。ずいぶん素直じゃないですか？

私の指導がよほど気に入ってしまったのですか？ ツんふ♥

わ、た、し、の！ おかげで、あなたは健全な学校生活を営めるのですよ。

(えへへ、あの日以来、彼は私に笑ってくれるようになった。好きい。

ていうか、これもう実質カップルだね。なにしてもいいってことだよね。

わー、今日もいっぱいイチャイチャしちゃおつと♥)

……さあ、早く生徒会室へ行きましょう。

安心なさい。今日も生徒会はお休みです。

私たち以外……誰も来ませんから♥

ふふ、とりあえずは……縛りましょうか♥ あなたを自由にさせておくと、  
襲われてしまいかねません。そこに座って待っていてください。

えーと……なわとびは……。

ん、なにをしているのですか――つてえええッ！？ なッ、んで、脱いでッ、

わっ私の指示無しに、そんな勝手は許しませんよッ！

っていうか、なんでもうギンギンにしてッ……。

(なにっ、なにっ、なにが起こってるのっ？ これっええと、ああっだめだ、

よくわからないっ、もしかしてだけど、もしかしてだけどっ、わ、私、

……ほんとにレイプされちゃう……？ 待って、急に怖くなってきた……！)

あいやッ、ああ、こないでッこないでやだッ、やだッ、やだッ、あッ……あッ。

イイイイイイッ……！！

（あッわたしッ、今ッ、全裸の彼にッ、抱きしめられッあ、やばッ、イグッ  
イグッ！ イグイグイグイグイグうううッッ！）

ッぐッ……あ、はあッ、はあッ、はあッ、やべてください、  
そんな……はあッ、はあッ、汗まみれのッ身体、でッ、裸でッ抱き着くなんて、  
なにッ考えてるんですかッ……！ はあッ、はあッ……！

（ああ、イっちゃ、った、全身、臭い肥満と臭い汗に包まれて、わたし、  
子宮が、膣が、絶頂を選んじゃった、やっぱり私、あなたが大好き、  
ああでも、どうして、私って、こんなことをずっと望んでたはずなのに、  
なんで私、恐れてるの？ 生徒会長だから？ 風紀委員だから？  
それとも、……女だから？）

えっ、あ、やッ、やッ……！ やめて顔を近づけないでッやだあッ！  
これ以上ッ、罪を重ねたらあなたッ、学校を追放どころじゃ済みませんよッ！  
あッああんむうんんんッ……！！

んぶッ、んんっぐッ、んえッ、んっ！ んんんんっ！ んんっぶえッ、  
ンッんんっぐッ、んええッ、んっ、ンブうッ、んんえッ、んっ、んっ！  
ンうッぐう、んんえッ、えおッ、んえうッ、んんっ、んおッ、んんっ……。  
（……ふあ……あ、きしゅ、されてりゅ……！ くっさい、きたないお口、  
素敵なお口で、ファーストキス、奪われて、る……、ああ、あ、舌が、  
とろけるみたい……、頭がどうにかんちやいそ、ああ好き、好き……）

ぶえあッ……はあッはあッはあッ……。ッは、離れなさいッ！  
はあッ、はあッ、……ッあなたはッ……。

くッ……私はあなたに、確かに厳しいことを言いました、  
しかしそれは、あなたを真人間へと改善させるためでしたッ、

あなたに常識はなくとも、まだ良識は微かに持つてると、  
信じてたのに、もう、救いようがないッ……絶対に許さないッ……！  
……うあ、こないで、もう、近づかないでくださッ……。あッ！

ッく……やめ、なさいッ……！ ヅやだッ、脚にもスカートにも、  
そんな汚いものッ、くっつけないでッ……！ 染みになっちゃう！  
そ、その腐った欲望を、私にこすりつけるのがそんなに楽しいのですかッ……？  
あなたはッ、あなたは私に何を求めているのですか？

（ふああッ♥ 勃起おちんぼッ、押し付けられてるッ、  
包茎おちんぼがッ、私の太ももでぬるぬるしてるッ……ああ、  
興奮、してくれてるんだ、欲情してくれてるんだ、  
私から襲わなくなつて、彼は、あなたは私をッ……、  
女として、見てくれてるんだあ……♥

もしかして私……メスとして、彼の野性に、……畏怖しちゃってるの……？）

はあッ、はあッ、はあッ……。

ッ……んなッ、ここで脱げと？ そんなッ、できるわけないでしょう！？  
ここは神聖なる生徒会室で……いやそもそも、どこであろうと、  
あなたみたいなゲスの前で素肌を晒すだなんてッ、ありえせんッ。

きやつ、いやッ何をッ、ああッやめてくださいッ！ ひいッあ——

ああッやだあッ！ 乱暴しないでくださッ、あッ制服ッ破けちゃうッ……！

きヤッああ！？ なッなにッあッ、やだッ、離してえッ！



はあッ、はあッ、はあッ……。ッあうう、ひ、ひどい……。こんなッ……屈辱的な格好で、両手を縛るなんてッ……。

男の人に裸なんてッ……見せたことないのにッ。

ッ……み、見ないでくださいッ！

（床が冷たいッ……お尻が変な感じする。私の身体が熱すぎるのかな？

いやそれよりどうしようッ……。

いま私ッ裸ッ、生徒会室で、彼の目の前でッ、すっぽんぽんにされてッ、両手をバンザイして、机に縛られてッ、おっぱいもおまんこも隠せないよッ、嬉しいけど、恥ずかしくて、怖くて、気持ち良くて、わ、私、どうなっちゃうの？ ああうっ、動くとおっぱいが揺れちゃうッ）

ふいッ。来ないでッ、来ないでよッ！

（来てほしいッ、来てほしいけど、でも、ああ、ああ、

……えっ？ か、彼が持ってるのって……）

そのボトル、まさかローション！？

なッなんでそんなもの持ち歩いてるんですかッ。変態ッ、変態ッ！

あ、や、だッ……そんなぬるぬるの手、近づけないでくださッ……！

いッ……ひ、あ、ああッ、やあッ、おっぱい、もまないでえッ……。

ッあ、あッ、なんで、おっぱいにローションッ、んッ、うう……！

はあッ、はあッ、あ、やあだッ、やめッ……あ、あッ、ちが、感じてな、イいッ……！ ああッ、はあッ、はあうッ、はあッ、はあッあ……！

ッん、はあー……はあー……なにを、考えてッ……、っへ？

ひあッ！ あッ、あ、そんな汚物ッ、おっぱいに挿まないでよッ……！

近いッ、臭いッ！ こッ、これ以上は怒りますよほんとに怒りますからッ！今も怒ってますけどッ！ それ以上に怒るんですから！

いやあッ、ッん！ ううッ、こッこのおッ……！

ひとが両手使えないからッッ、おっぱいをおもちゃにしてッ……！許しませんッ、ッんッ、絶対に許さないッ！ つあッ、ちがッちがいますッ、オナホじゃありませんッ、わたッ私のおっぱいは、あなたのオナホじゃッ、ないッ、違うもんッ、違うもんッ！ ヅやあ……！

（もう私、わからない、熱望してた彼に、彼のおちんぽに、

おっぱいオナホにされて、強制パイコキさせられて、この感覚がもう、たまらなく嫌で、たまらなく幸せッ……なんなのこれえッ！）

ッく……！ はあッ、はあッ、……ッん……！

か、感じてるわけッないでしょうッ、んんッ、こんなけがらわしい野太い手に、自分のおっぱいを好き放題されてッ、んッ、誰が感じるっていうんですかッ。

私はそんなッ変態じゃないッ……違うッ、私はッ、私はあッ……！

ッいやッ……そんなことッ言わないでえッ、私のおっぱいはッちよっと、平均より大きい、だけッ……下品じゃないッ、エッチくないッ！

やめてッ、変な言い方ッしないでッ、んッ、ちがッ、ふ、不快なだけ！

（ああ、あなたにセクハラされるだけで、全身跳ねあがつちゃうくらい、きもちいいッ……！ やめてっやめてくださいいッ、ほんとの私がッ、今にもっ口から飛び出てきそう、なのッ……！ なんてかわからない、けど、それがッすぐくすぐく、怖いのッ……！）

ふあッ？ あッ、あッちょッ、激しいッ……やだッ、もつとやさしくしてッ！  
いいヤッ、使つていいわけじゃないッ！ せめてッ乱暴にしないでくださいッ、  
そんなッ、あッ、ほんとにオナホみたいにッ……おっぱい壊れちゃうッ、  
ッへ？ あッ、やだッ、やだッ、やだッ！ 出さないでッお願いやめてッ、  
他のとこッ、床に出してくださいッ、おっぱいやだッ、あッあッ、あッあッ！

ひやあッ！！ あッ、やだッほんとに出し……あ、あ、あつつい、ああッ……！

ひいイッ……！ きつ気持ち悪いッ……！ こねくり回さないでえッ！

（ああ、出された、おっぱいにザーメンめっちゃ出されちゃったッ……  
気持ちいいッ、気持ち悪いッ、おっぱいおまんこにされて、ああなんで、  
こんな複雑な気分になっちゃうの……？

……そ、それにきつと、これじゃ終わらない、そうだ、私これから、  
……レイプされちゃうんだ……）

## 最高に幸せな復讐・暴露編

はああッ……、早く、身体洗わせてくださいっ。もうやだ、こんなのやだよ、  
ぬるぬるして、ぐちゃぐちゃして最悪、頭痛がしてきましたッ……。

ッ……何をしてるんですかッ、早く拭くものを持ってきてくださいッ！  
……へっ……？？

ひッ！ いやあッ！ やめてッ！ 撮っちゃダメえ！

やめてよッ！ こんなッ、精液まみれのおっぱい写さないで、ううう！

あッ……そ、そんなッ、おっぱいアップでッ、ひイッ！？

（あッあッあッどうしよっどうしよっ、パイズリ済みおっぱいも、  
裸もぜんぶ撮られてッ、あッ、教室で顔出し全裸写真ッ、こんなの撮られたら私  
ッ、二度と彼に逆らえないッ♥）

……はっ！？ もつもしかして今ッ、録画してる！？

いいいますぐッ、やめなさいっ！ やあッ、こんな姿ッもしバレたら、  
変態だっと思われちゃう！ 生徒会長っ辞めさせられちゃうっ！

いやッ、退学になっちゃうよっ！

……えっ？ ッ……ほ、ほんとにっ？ 自己紹介すればいいのっ？

でも、本心、とは……？ どういうことですか？ 自己紹介に本心も何も……。  
（なに……？ 彼の、あの視線。まるで、すべてを見透かされてるような……。  
もしかして……気づかれてる？ 私の本心、ぜんぶバレてる……？？）

ッあ、ま、待つてください、やらないとは言ってますッ……。

本心を……言えばいいんですか？

ほんとに、それで？ 流出させない？ 約束してくれますか？

……わかりました……。

本心、本心、本心……！

（本心……。ああ、そっか。そういうこと……。

いま、やっとわかりました。

厳粛な生徒会長の私も、

あなたのことがぜんぶ好きな私も、

……どちらも本物だったのです。

そして……私は、あなたに本心を悟られるのが恐ろしかった。

あなたに犯されてしまったら、私は、本性丸出しになってしまうから。

……それが見透かされているのなら、何もかもが杞憂でしたね。

……あなたは、私にどちらかを選べと……そう言っているのでしょうか？

拒否権も選択肢も、最初から奪ってるくせに。……悪い人……♥

でも、答えなければいけません。

どちらが私の本心か。そんなの、もう、ぜんぶ……うん、ぜんぶ——)

か、釜無香澄です。生徒会長と、風紀委員を兼任しております♥

おっぱいは……じ、……Gカップ。ムッチリした身体が、自慢です♥

いつも男子生徒から、イヤらしい視線を浴びせられていることも、知っています♥

……お、オナニーは、オナニー、はッ……、1日5回以上ですッ……♥

……オカズ……は……。

うッ……うううう、オカズはッ、オカズは……！

ああッ、ああッ、……ッぎいいッ……！！

あなたにッ、レイプされる妄想でシてますッ！！ いつもですッ！！♥

デイルドをッ、あッ♥ あなたのちんぽに見立ててッ、じゅっぽじゅっぽ♥

ずぼずぼ♥ 生徒会室で、女子トイレで、おうちで、すっぱだかになって、

誰にも見せられないような下品な顔で、おまんこほじくりパコってますッ♥

妄想ひとりえっちでッ♥ おしっこぶちまけながら潮吹きちゃってますッ♥

あッ♥ あッ♥ あなたの顔、あなたの声、あなたの姿を想像するだけで、

視界に入れるだけでッ、私ッ、おまんこが悦んじゃうんですよおッ！♥

私はッあなたのことが大大大大……い好きなのッ♥

アハハハハッ！♥ やつと言えた！ これが私の本心の中の本心ですッ！

あなたのことが大好きッ好き好き好きッ、ぜんぶ好きいい……ッ！！♥♥

イイイイイイイイグッイグイグイグッうう……ッッ！！♥♥

。あッああああああああ！！！♥♥

## の最高に幸せな復讐・机上交尾編

はーッ、はーッ、はーッ、はーッ……！！♥ あへッ、へへ……♥

本心、も、おしっこも、潮も、ぶちまけちゃいまひたあッ……♥

あの、あの、もつと、こちらへっ……あなたの匂いを、補給させてください。

ッあ……、すうううッはああッ、えろおッ、汗臭くてッすすっばくて、

これ嗅いでるだけでッ私、おまんこ洪水になっちゃいますッ、すううッはああ、

すううッはああッ、ああ好きッ、好きいいッ……♥

んう……んちゅっ♥ ちゅう♥ んへっ♥ んんうむうっんじゅるっちゅる♥

んえッ♥ ああキスッありがとおごじやいまんうむうっんっ♥ んっ♥

んぶはあッ……♥

はあッ、はあッ、うふッ、ふふふッ♥ はい、真面目なほうの私は死にました♥

ああ、好き、好き、あなたがぜんぶ好き、ああ、なんて気持ちいいの、

あなたに本心を言えることがこんなに気持ちいいなんて。ふふふ♥

でも……私、あなたに辛辣なことを数えきれないくらい言ってしまった。

……おしおき、してください……♥ お口も、おっぱいも、おまんこも、

あなたのものです。ぜんぶぜんぶぜんぶ、あなたのためだけのものです。

本日いまこのときより、生徒会長・釜無香澄は、

あなた専用オナホールになりました♥

そして、生徒会長として、あなたには特権を与えます。

学校全体が、あなたのヤリ部屋です。

いつでもどこでも、ちんぽがムラついたら、私を……お使いください……♥

……んえ？ あれ、解放してくださるのですか？

んふっ♥ そんな、肉便器の私のご心配を……やあんっ♥ 素敵すぎます、

あなたは最高の男性ですっ♥ ますます好きになっちゃうよう……♥

えへえっ……でも、両手が自由なら、好きだけあなたの身体を、  
あなたのちんぽをギュってできちゃうー

ひやあっ！？♥ ああッ、やあんっ♥ えっちいつ♥

っ、机のうえて、セックスしたいんですか？♥ あはっ……♥

これ、生徒会の会議で使う机なんですよ？ 変態さんですね♥

んっ♥ ももお、あなたの変態っぷりに私、頭ジンジンしちゃってますよ♥

んむッ！？ んんっ♥ んっ、ちゅっれおっ、えおっ♥

んんんしゅきい、しゅきいつ、んんむっ、んっ、んっ、はあッ、

はあッ、はあッ、きしゅ、しゅきいつ、もっつと、もっとおお♥

んんっ！♥ んむっんん、んうっ、ふっ、ふっ、んんっ、じゅるっ、

んええっ、んむっ、んっふうううう、んふうううう……♥

ぶえ、はああ、はああ、はい、もう生徒会とかどうでもいいい、

あんなおべっか連中知りません、あなただけいいもんっ♥

本心をぶつけてくれるあなたが、だあいすきなお……♥ れろおお♪

はああっ、はああっ、こんな、私情最優先のクソ生徒会長にッ、

おしおきセックスしてくださいッ、まだ微かに残ってる私のクソプライド、

それをあなたにぶち壊してほしい。あなたのちんぽで、

私の処女もここも貫いて、破壊して？♥ お願いいたしますー

おちんぽ様♥

ふぐッ！！♥ おッ……ひッ、ひッ、んぽ、ちんぽッ、おお……！！

ちんぽキタッちんぽッあッ、しゅごッあッ、あ……ッ……♥

あッ、あッ、あッ、はあああッ……！ あへあ♥

わだ、し、ずっと、イっちゃってましゅっ♥

あああなたのッ、ちんぽ、入ってるだけ、で♥

ああッ♥ 全ッ然、痛くないですう♥ いま、幸せしかっ♥ 感じてません♥  
もお、おちんぽ様おやさしい♥ 私のことなんて、切り目を入れたこんにゃく、  
その程度に見えていただいて構わないですよ？♥ お置きですし♥

あッ♥ ぐッ♥ あッ♥ あ♥ あッ、あ♥ ずご、いッ♥

せつくすッ♥ しゅごいッ♥ これがッほんとの、あなたとのせつくしゅ♥

あなだ、が、私のナガッ、いつたり、きだり、あッ♥ あッあがッ♥ はッう♥

ッあッ♥ は、はいッ、ごめんないッ♥ きもぢ、すぎてッ、

下品なマンコ声ッ、あッ♥ 漏れちゃうんですッ♥ ちんぽにッオナホ膺ッ、

こすられるたびッ♥ 私の中のモノッが♥ 口から出てきちゃう、のおッ♥

あッ♥ あッ♥ ああごめんなさいッごめんなじやいいッ♥

はしたなぐッ、乳オナホ揺らしてごめんなしいッ♥ ふにやあッ♥

全身であなたにッ、チン媚びしてるからッ♥ 無意識に欲情ッ煽っちゃって♥

ああッ、はいッ♥ 私のデカすぎるお乳ッ、あッ♥ あなたのお好きなように、

吸って、揉んで、犯してくださいッ♥ あッ♥

ッあああああッ！♥ にやあッ♥ あッ♥ おおッ♥ おっぱいッ♥

にやあッ♥ あなたにッあッ♥ 吸われてッあッへッ♥ にやへッ♥

あああ……ッ♥ ああああ……ッ♥ ぎもぢいいぎもぢいいよおお♥

おうッ♥ んおおッ♥ おふッ♥ はッあなたにッ♥ 犯されるとこッ♥

ぜんぶ性感帯になっちゃッ♥ おまんこになっちゃう♥ あッ♥ あッ♥

がッ♥ うッ♥ ううう……ッ♥ ううッふうう♥ んへッへへ♥

えへええッ♥ うれじいッ、しあわしえッ♥ しあわしえなによ♥

んうッ、んんッ♥ あッ、ふえッ♥ ああッおちんぽ様ッ、はいッ♥

いつッでも♥ お好きなときにッ、ザーメンコキ捨ててくださいいッ♥

ぶっこ抜いてくだしヤッ♥ だってッ私ッ、あなた専用ザーメンタンクッ、

だからあッ♥

イ  
ひ  
い  
い  
い  
い  
い  
い  
ゝ  
ゝ  
ゝ  
ゝ  
ゝ  
ツ  
ツ  
!  
!  
!

ツんむ、ちゅ、んえ、えお、ん、はい、しゅきれすつ……しゅき、んむ、ちゅ  
ん、んえ、んえお、ん、しゅきい、んうふふしゅきイ……♡

失神しちゃうなんて、初めてで、でも、あのまま死んでも、私は幸せでしたあ。あなたに殺されるなら、それも私の本望です。

……あなたのことが、好き……。○

……、理由……、ううん……好きに理由は要らないって、よく聞く文句ですけど、私のは、そんなレベルのものではないのですよ……。

……生徒会長としての私は、たぶん、日常生活をまともに過ごすための、私の人間としての防衛本能、最後の砦だったのだと思います。

きつとあなたに、それを捨てろと言いだけたなら、  
いつでも、即座に捨てていたでしょう。

……いえ、今のは忘れてください。今となつては、どちらでも構いませんもの。

はああ……♡

何もかもを捨て去つてでも愛したい、そういう人間と出会うことは、幸せでしょうか、不幸でしょうか。それは、価値観によつて変わるでしょうが、私は……寸分たがわず。

幸いです。

ずつと、ずつと、ずつと……、ぜんぶ、ぜんぶ、ぜんぶ  
好き。ちゅつ……♡

(終)

好き。  
ちゅつ……  
♡